

ワンヘルス推進に向けて取り組んでいます！

ワンヘルスとは

近年、森林破壊や気候変動で、野生動物の生息域が変化しています。野生動物は、人と動物の両方が感染する病気（人獣共通感染症）を持っていることがあり、野生動物と人との距離が近づくにつれ、人に感染する機会が増えていると言われています。そのため、人の健康を守るには、人だけでなく、動物や周りの環境にも目を向ける必要があります。人・動物・環境をひとつのものとして、関係者が連携して活動していこうという考え方を「ワンヘルス（One Health）」と言います。



県での取組

徳島県では令和5年3月に「徳島県ワンヘルス推進条例」を制定し、県・医師・獣医師・研究者及び関係機関が協力・連携してワンヘルスをより進めるために、令和6年4月に「徳島県ワンヘルス推進センター」を設置しました。

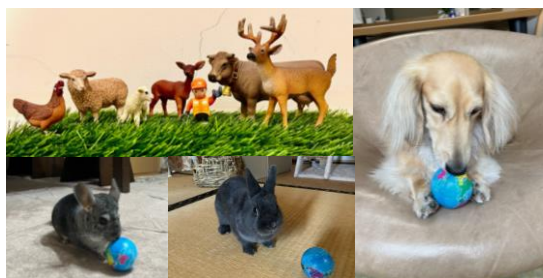
保健製薬環境センターは、ワンヘルス推進センターの構成機関として、ワンヘルス推進に役立つ研究に取り組んでいます。



当センターでの取組

保健製薬環境センターでは、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）や日本紅斑熱をはじめとする人獣共通感染症の検査を行っており、緊急時においても迅速に検査ができるよう体制を整えています。また、県民の健康を守るため、人獣共通感染症のうちマダニや蚊媒介感染症対策につながるような研究をしています。

感染症情報センターでは、動物由来感染症を含めた様々な感染症の発生状況について、毎週ホームページにおいて情報を発信しています。SFTSや日本紅斑熱を媒介するダニの対策についても公開していますので、是非一度ご覧ください。



徳島県感染症
情報センター



徳島県から
ワンヘルス！